

支部長: 木村 博是 (近畿大学) (Chapter President: Hiroshi Kimura, Kinki University)

支部事務局: 〒522-8533 彦根市八坂町 2500 滋賀県立大学 小栗裕子研究室内

(Chapter Office: Yuko Oguri, The University of Shiga Prefecture, 2500 Hassaka-cho, Hikone-shi 522-8533)

Tel: 0749-28-8252 Fax: 0749-28-8619 E-mail: yoguri@ice.usp.ac.jp URL: <http://www.jacet-kansai.org/>

郵便振替口座番号(Postal Account): 00940-4-187715 大学英語教育学会関西支部

文法力の必要性

支部長 木村博是

「私をここに閉じ込めておかれるのも、ナポリに送り返されるのも皆様次第です」(*The Tempest*)と魔術のなくなったプロスペローがエピローグで観客に拍手で自由の身にしてもらうように願いました。私も会員の皆様にお願ひがあります。関西支部では教育や研究の成果を発表できる場として、本年度から『JACET 関西紀要』を毎年刊行することにしました。紀要は支部活動の推進力です。どうか会員の皆様のご投稿によって、あらたな船出をした紀要を育てていただきたいと思います。投稿原稿の締め切りは11月10日です。

さて、以前に比べて学生の英語力の低下、特に文法力が落ちていることを多くの先生方が実感していることでしょう。文科省の『「英語が使える日本人」の育成のための戦略構想」以来、運用能力を念頭においた実践的なコミュニケーション能力の育成の具体的な取り組みがなされていますが、「使える英語は何か」を考える場合、忘れてはならないのは文法力の養成ではないでしょうか。

英語で意思を伝えるだけでなく、ディスカッションやディベートをしたり、レポートやビジネスレターを書いたりするとなれば、レベルが上がれば上がるほど、必要となるのは正確な文法力です。また、留学した学生で英語力が大幅にのびる人と、滞在期間が長い割には英語力が変化しない人との違いは、結局、文法力が確実に身についているかどうかによります。

メルボルン、パースなどオーストラリアの都市の語学学校には、長期滞在して英語を学ぶ人、ワーキングホリデーという制度を利用して、現地でアルバイトをしながら英語を勉強している日本の大学生もいます。長期滞在者が多いせいか、きちんとテキストを使用する学校が多く、レベルが高くなるにつれて文法を学ぶチャンスが多くなり、上級レベルのクラスでは、より正確な文法力の養成に力を入れています。

Grammar の時間はもちろんテキストを使って文法の練習をしますが、Conversation の時間でも、意思が伝わればいいという授業は行われません。学

生同士で会話をさせる際、教員はただ単に聞いているだけではありません。グループをまわって、学生が発話した文法上の誤りを含むセンテンスを書きとるのです。そして学生同士の会話が終わった後、そのセンテンスをホワイトボードに書き、学生たちに、どこが間違いで、どのように訂正すれば自然で正しい英語になるかを考えさせます。こうすることで、学生が同じ文法ミスを犯すことがないように指導しています。

つまり、文法をベースにしない授業では英語力の伸びに限界があるということです。コミュニケーションができればいい、という気持ちで、いつまでも同じ文法ミスをしていたのでは英語力は向上しません。コミュニケーションの根源的な部分については文法が重要な役割を演じているからです。オーストラリアで、文法力の必要性を再発見しました。

2007 年度 JACET 関西支部秋季大会の報告

秋の空に聳え立ち「えんぴつ塔」と親しまれる時計台、西洋の城か修道院かと見紛うばかりの建物がひときわ目を引く美しいキャンパス。2007 年度 JACET 関西支部秋季大会は、10月13日(土)、彦根市の琵琶湖のほとり、滋賀県立大学の交流センターで開催されました。大会テーマは「日本における英語教育の課題と展望」で、遠方にもかかわらず79名の参加者があり、成功裏に終了しました。

午後1時からの開会式に続き、意欲的なワークショップ1件と研究発表6件、そして岡田伸夫 JACET 副会長による基調講演と、充実したプログラム内容でした。また懇親会には40名の出席があり、美味しい料理に舌鼓を打ちながら会員同士の交流と情報交換で盛り上がり、午後7時半にすべての大会行事が終了しました。

秋季大会がスムーズに運営できたのは、大会開催に向けて周到な準備をいただいた研究企画委員の方々の献身的なお力添えがあつてのことでした。とりわけ委員長の方林桂子先生や開催校の小栗裕子先生にはお世話になりました。そして、すばらしい会場校をご提供頂いた滋賀県立大学の関係者の皆様にも、開会式で会場校挨拶を賜りました曾我直弘理事長(学長)にも、心からお礼申し上げます。ありがとうございました。(木村)

『JACET 関西紀要』投稿締め切りについて

現在、『JACET 関西紀要』第 10 号への投稿を募集中です。締め切りは 11 月 10 日（土）必着です。詳細については JACET 関西 HP をご参照下さい。

2007 年度第 2 回講演会・忘年会のお知らせ

12 月 16 日（日）に第 2 回講演会、続いて忘年会を開催します。詳細については同封の案内をご覧ください。

2008 年度 JACET 関西支部春季大会

ワークショップ・研究発表・実践報告応募要領

上記の大会が 6 月 7 日（土）に摂南大学にて開催されます。以下の要領で発表を募集いたします。発表をご希望の会員の方は関西支部事務局までご応募下さい。会員の皆様の積極的なご応募をお待ちしています。

1. 発表内容：発表は英語教育及び関連分野に関する未発表のものに限る。
2. 発表時間：研究発表・実践報告は発表が 20 分、質疑応答が 10 分の計 30 分。
3. 応募書類：応募者は、応募書類（A、B の 2 種）を、E メール添付にて事務局まで送付すること。応募書類は本支部 HP からダウンロード可。

A) 応募情報：

- a) 発表形式：ワークショップ、研究発表、実践報告の別を記入。
- b) 発表題目（日本語と英語）
- c) 発表者情報（共同発表の場合は全員）：氏名（漢字とローマ字）、所属（日本語と英語）、連絡先住所、TEL、FAX、E メール
- d) 発表に使用する言語
- e) 使用希望機器（不要なら「なし」と明記）

B) 発表要旨（目的、背景、仮説、方法、結論、引用文献等）：日本語の場合は 800 字（A4 用紙ワープロ打ち）程度、英語の場合は 400 words（A4 用紙ワープロ打ち）程度。無記名。字数厳守。

4. 締め切り：2008 年 2 月 17 日（日）必着。
5. 選考：選考は選考委員会にて行う。
6. 結果通知：選考結果は、締め切り後一ヶ月程度で E メールにて通知する。
7. 送付先：yoguri[at]jice.usp.ac.jp
*一両日中に受け取り確認を E メールにてお送りします。万一、連絡がない場合はご一報下さい。
8. その他：ワークショップの詳細については、事務局までお問い合わせ下さい。

Call for Papers

The 2008 Spring Conference of the JACET Kansai Chapter will be held at Setsunan University on Saturday, June 7. Members of the Chapter are invited to send proposals for research papers, reports on classroom activities and workshops. Conditions and procedure for proposals are as follows:

- 1) Proposed topics should be relevant to English education and related fields. The proposed material should not

have been presented elsewhere.

- 2) A research paper or a report on classroom activities should consist of a 20-minute presentation and a 10-minute Q & A period. With regard to workshops, contact the JACET Kansai Chapter office for details.
- 3) The following forms A and B should be prepared on separate sheets and submitted to the Chapter office by E-mail attached documents. The forms are available from the Website.

A) Application form:

- a) Type of proposal (research paper, report on classroom activities or workshop); b) Title of proposal; c) Information on an applicant: name, affiliation, postal address, phone & fax numbers, E-mail address; d) Language of presentation; e) Equipment needed.

B) Abstract: anonymous; write about 400 words including purpose of research, background, hypothesis, method, conclusion, references.

- 4) Proposals must arrive at the Kansai Chapter office (yoguri[at]jice.usp.ac.jp) by no later than February 17.
- 5) The proposals will be screened by the Reviewing Committee.
- 6) Notification of acceptance will be sent within a month after the application deadline.
- 7) Acknowledgement of the receipt of the proposal will be sent by E-mail within two days after its receipt. Inform the office if you do not receive an acknowledgement.

2007 年度第 3 回講演会のご案内

今年度の第 3 回講演会は 2008 年 3 月 2 日の予定です。詳細については、決まり次第 HP とニューズレターでお知らせいたします。

授業学研究委員会解散のお知らせ

2004 年に発足した本委員会は、その研究活動の成果として 2007 年 1 月に松柏社より『高等教育における英語授業の研究—授業実践事例を中心に—』を刊行することができました。支部委員及び実践事例を応募してくださった会員の皆様に心より御礼申し上げます。本委員会は 9 月 30 日をもって一旦解散をいたしました。引続き特別委員会を組織して、「リメディアル教育」の実践事例集を中心とする第 2 弾の刊行物発行を目指す予定です。詳細につきましては現在検討中ですが、新しい委員会の組織等が決まり次第お知らせいたします。その時はどうぞよろしくお願い申し上げます。

（前授業学研究委員会支部委員長 小栗裕子）

訃報

長年にわたって JACET 関西支部長を務められ、現在も会員である安藤昭一先生が、10 月 17 日逝去されました。故人の長年の英語教育への功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。